

【全体概要】

桜島大根は、鹿児島市桜島地区で全盛期には200ha栽培されていたが、降灰被害等により栽培面積は減少し、現在は約8haとなっている。在来の桜島だいこんは形状にばらつきがあり、品質が不安定なため、加工業者のニーズに対応できないことから、取引価格が低く設定されるなどの課題を抱えている。そこで、高品質で揃いの良い県育成品種「桜島おごじょ」の導入に向けた生産技術の確立と加工品開発、販路拡大に向けた取組を支援し、産地育成を図る。

新品種・新技術等の概要

- 品種名：「桜島おごじょ」
- 開発者：鹿児島県農業開発総合センター
- 開発年：2016年
- 特性等：
 - ・ 在来品種に比べて空洞症の発生が少なく、す入りの発生時期が遅い。また、揃いが良く、肥大も早い。
 - ・ 空洞症や裂根等の発生が課題。



生産農家への品種特性研修会

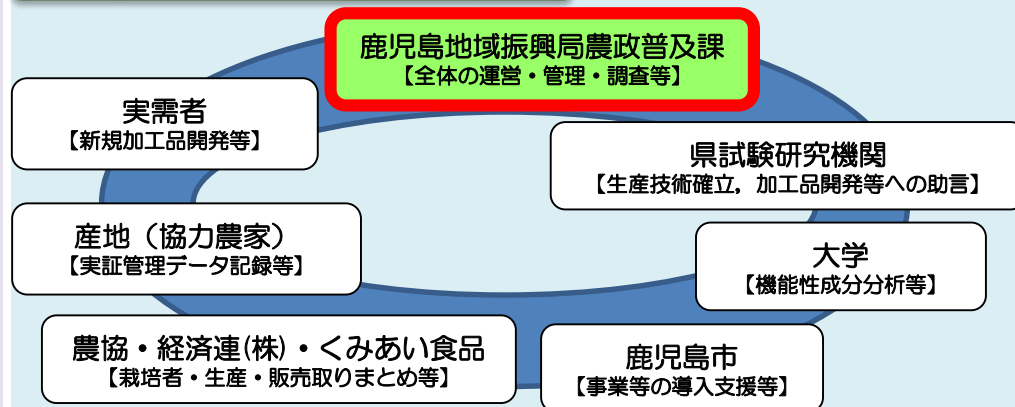


施肥技術改善実証ほ現地検討会

主な取組内容

- 品種の特性把握と栽培技術のマニュアル化
 - ・ 採種技術の検討
 - ・ 採種技術確立に向けた先進地調査
 - ・ 施肥技術改善の実証試験
 - ・ 栽培マニュアル作成及び技術普及
- 新規加工品の開発と産地・実需者とのマッチング活動
 - ・ 専門家との意見交換会及び加工品の試作
 - ・ 機能性分析結果を活用した新規加工品の販路拡大活動
 - ・ 販路拡大に向けたマッチング活動
- 産地育成に向けた活動
 - ・ コンソーシアム候補の形成及び検討会の開催

コンソーシアム候補の体制図



実績と今後の展開

- 取組実績
 - ・ 採種専用ほ場設置による採種技術確立（約14万粒の種子確保）
 - ・ 肥効調節型肥料による全量基肥施用技術の確立
 - ・ 栽培技術マニュアルの作成
 - ・ 新規加工品2試作品の開発（高い評価）
 - ・ 機能性分析結果等を活用した新規加工品の本格販売
 - ・ コンソーシアム候補の形成
 - ・ 栽培面積の拡大（H28: 1ha → H29: 1.6ha → H30: 2ha）
- 今後の展開
 - ・ コンソーシアムによる桜島大根産地ブランド化の検討
 - ・ 県育成新品種「桜島おごじょ」の普及
 - ・ 桜島大根の新規販路拡大